

みちしるべ

道標

ホームページアドレス <http://www.kyoto-be.ne.jp/kumiyama-jhs/> アクセス数 1101755

久御山中学校

学校だより

令和2年度3月号

令和3年2月24日(水)

〒613-0042 京都府久世郡久御山町坊之池高河原7

TEL 075-631-7207 FAX 075-631-7246



◇令和2年度修了式◇

1、2年生のみなさん、修了、そして、進級おめでとございます。3学期の終業、今年度の修了に際して、私から2つのことをお話しします。

1つ目は、年度の終わり、学期の終わりは、「自分を振り返るチャンス」だということです。今年度の始まりは、2カ月間の休業から始まりました。前代未聞のできごとです。生徒のみなさんだけでなく、教職員を含め、大人のだれもが、この先どうなっていくのか不安でいっぱいでした。そのような状況の中で、冷静に何をすべきか、どのような心構えが必要かを判断することは難しかったと思います。6月になり、学校は再開しました。1年生にとっては、学校生活にもまだ馴染めていない中、新しい生活様式に慣れることも併せて、戸惑うことが多かったと思います。2年生にとっても、入学して、やっと学校生活が軌道に乗り始めた矢先、コロナウイルスの影響での休業、行事や大会、コンクールの中止などで、切り替えることや、モチベーションを保つことが困難でした。様々な試練が、みなさんの前に立ち上がった1年間でした。みなさんは、このコロナ禍という特別な環境で自分自身はどのように振る舞ったかという観点、そして、コロナの影響を抜きにして、自分自身はこの年度、3学期の当初に立てた目標を達成できたか、達成するためにがんばっていたかを振り返ってみてください。

2つ目は、今年度に掲げたスローガン「心躍る学校生活」についてです。3学期の初めに、「主体的」というキーワードを挙げました。自分の心の中から、「楽しもう」「強くなろう」「よりよくしよう」という気持ちを湧き起こさない限り、「人に言われてする」「人がしているからなんとなくする」「無理矢理させられる」ということになってしまいます。やはり、みなさんが、「心躍る」という気持ちになるとすれば、自分の心から楽しめる、こうなろうと思ってなしてほしいです。そのため

には何が必要か。それは、「対話」することです。友だちとの対話、先生との対話、家族との対話、初対面の人との対話、場合によっては、物(教科書や教材、道具など)との対話もあるかもしれません。そして、何よりも大切なのは、「自分との対話」です。過去の自分を振り返ったり、今の自分には何が不足しているのか見つめ直したり、将来の自分はどうなりたいと望んでいるのか思い描いたり、自分と対話することで整理したり、確認したりすることを心がけてください。来年度も、今年度と同じような状況が続くことは充分考えられます。それどころか、さらに深刻な状況にならないとは、誰も言い切れません。どんな状況になったとしても、素直に自分を振り返られること、人や物や自分自身と「対話」することを意識してください。

来年度もみなさんとともに、「心躍る久御山中学校」を目指していきたいと思えます。

校長 布川 宏

◇令和2年度卒業証書授与式◇

今年もコロナ禍ではありますが、できることを皆で精一杯準備して式を挙行することができました。教職員からの合唱ムービーもあり、参加者全員で創り上げた式になりました。卒業生の3年間の成長が背中であらわれていました。堂々とした姿が誇らしげに輝いていました。



今後の予定

4月1日(木) 離任式
8:45 体育館集合
9:00~「離任式」

終了後解散
※自転車は旧学年・クラス
※部活動なし

4月7日(水) 着任式・始業式
8:10~ 新学級名簿掲示
(1年グラウンド・2年中庭)
8:30~ 朝学活(新学級教室)
「着任式、始業式」

※自転車は旧学年・クラス
※教科書等を入れるカバン
※部活動なし

中期選抜へ応援演奏会◇

雨天でしたが、3年生だけでなく多くの生徒が美しい音色に聞き入っていました。後日入試を控えてた3年生にとってこれほど頼もしい後輩のエールはないというほどの演奏でした。「最後に聞けて良かった」という反応もあり、みんなが大満足で終えることができました。

